

スターチス新品種「紀州ファインルビー」及び「紀州ファインパール」の育成

暖地園芸センター

[研究のねらい]

本県のスターチス・シヌアータ生産量は全国第1位です。しかし、生産現場では切り花単価が高い春の彼岸までの収量確保や萎凋細菌病による被害の軽減が課題となっています。そこで、早期多収性品種や萎凋細菌病抵抗性品種の育成に取り組みました。

[研究の成果]

1. 「紀州ファインルビー」

- ①育成経過: 2004年に、県内で育成された品種や選抜系統を混植したハウス内にミツバチを放って交配し、「紀州スター」を種子親とする実生から選抜することにより育成しました。
- ②特性: がく色は鮮やかな赤紫色で、花色は白色です(図1)。草丈は高性で、茎が太くなります(表1)。株当たりの収量は20.4本と多く、収量性が高い品種です(図2)。

2. 「紀州ファインパール」

- ①育成経過: 「紀州ファインイエロー」の突然変異体から育成しました。
- ②特性: がく色は白色で、花色は黄色です(図1)。草丈は高性で、茎の翼幅は狭く、花房数が多い品種です(表1)。萎凋細菌病抵抗性検定では、発病株率が20%と低く、萎凋細菌病に対し強い抵抗性があります(図3)。

[成果の活用面・留意点]

- ・両品種は、2008年7月に品種登録出願公表されています。
- ・増殖は和歌山県が許諾する種苗生産業者で行い、栽培は和歌山県内に限ります。



図1 「紀州ファインルビー」(左)と「紀州ファインパール」(右)

表1 供試品種の生育特性

品種	草丈 (cm)	茎の太さ (mm)	茎の翼幅 (mm)	花房数 (個)
紀州ファインルビー	118.7	6.1	5.5	9.9
紀州スター	115.1	5.4	5.0	8.2
デュエルバイオレット	119.4	5.2	7.0	8.1
紀州ファインパール	116.8	4.4	2.6	12.4
紀州ファインイエロー	129.2	4.9	3.0	12.1
紀州ファインホワイト	97.1	5.1	5.8	10.7

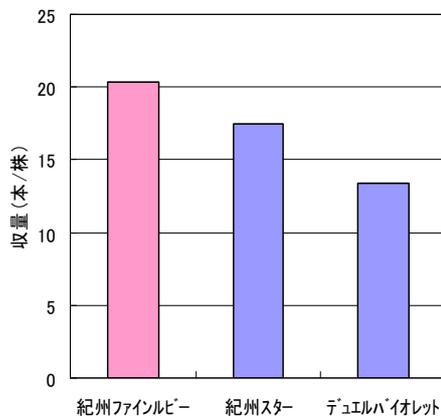


図2 供試品種の収量
調査は2006年9月11日から2007年3月20日まで

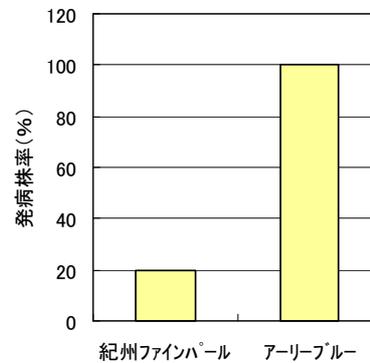


図3 供試品種の萎凋細菌病抵抗性検定

(問い合わせ先TEL:0738-23-4005)